

令和2年度 英語表現Ⅰ シラバス

教科名：外国語 科目名：英語表現Ⅰ

対象学年：2 学年（1 ～ 6 組）

單位數：1 單位

使用教科書：Vivid English Expression I NEW EDITION (第一學習社)

担当者：

学習の到達目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の工夫をしながら伝える能力を養う。 具体的言語活動は次の通り。 ア．与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。 イ．読み手や目的に応じて、簡潔に書く。 ウ．聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。
---------	--

評価の観点			
a. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	b. 外国語表現の能力	c. 外国語理解の能力	d. 言語や文化についての知識・理解
コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。

年次	月	学 期	学習項目	学習内容（ねらい）および評価の観点	a	b	c	d	評価の方法
1 学期	4 月	1 学期 末 考 査	Lesson 15 My Father Is a Good Cook	<本課のねらい> ・to-不定詞の副詞用法(目的, 感情の原因・理由)の働きを学習する。 ・英文を聞き取り, 情報を整理して質問に答える。 ・文章全体の文脈を考えながら, 日本文の内容を英語で適切に表現する。 <文型・文法事項> to-不定詞の副詞用法を用いて文を作ることができる。 <言語の使用場面> 「家事・生活」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・定期考査
			Lesson 16 School Festival	<本課のねらい> ・S+V+O+to-不定詞, 疑問詞+to-不定詞の表現を学習する。 ・英文を聞き取り, 情報を整理して質問に答える。 ・文章全体の文脈を考えながら, 日本文の内容を英語で適切に表現する。 <文型・文法事項> S+V+O+to-不定詞, 疑問詞+to-不定詞の表現を用いて文を作ることができる。 <言語の使用場面> 「文化祭」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・定期考査
	6 月		Lesson 17 Doing a Homestay	<本課のねらい> ・動名詞の働きと意味を学習する。 ・英文を聞き取り, 情報を整理して質問に答える。 ・文章全体の文脈を考えながら, 日本文の内容を英語で適切に表現する。 <文型・文法事項> 動名詞を用いて文を作ることができる。 <言語の使用場面> 「ホームステイ」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・定期考査
			Lesson 18 Our National Sport	<本課のねらい> ・分詞の形容詞用法を学習する。 ・英文を聞き取り, 情報を整理して質問に答える。 ・文章全体の文脈を考えながら, 日本文の内容を英語で適切に表現する。 <文型・文法事項> 形容詞用法の分詞を用いて文を作ることができる。 <言語の使用場面> 「日本文化」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・定期考査

学期	月	種	学習項目	学習内容（ねらい） および評価の観点	a	b	c	d	評価の方法
	7月		For Communication 4	<本課のねらい> ・「申し出る」表現を学習する。 ・英文を聞き取り、情報を整理して場面や目的等に応じて適切に英語で表現する。 ・場面に合った内容を考えながら、英語で適切に表現する。 <言語の働き> 「申し出る」表現を理解し、文を作ることができる。 <言語の使用場面> 「レストラン」の場면을ふまえて「申し出る」表現を使ってコミュニケーション活動ができる。	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・定期考査
	1学期の評価方法			<評価の対象> ①期末考査の成績、②Lesson 15～Lesson 18の各課の評価問題の成績、③授業への取り組みの様子、④課題の提出状況と解答内容、⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況。					
2学期	9月	2学期末考査	Lesson 19 Let's Clean the River!	<本課のねらい> ・比較(原級、比較級)の表現を学習する。 ・英文を聞き取り、情報を整理して質問に答える。 ・文章全体の文脈を考えながら、日本語の内容を英語で適切に表現する。 <文型・文法事項> 比較(原級、比較級)の表現を用いて文を作ることができる。 <言語の使用場面> 「ボランティア」の場面の表現をふまえてコミュニケーション活動ができる。	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・定期考査
	10月		Lesson 20 Events in My Town	<本課のねらい> ・最上級、最上級の意味を表す比較表現を学習する。 ・英文を聞き取り、情報を整理して質問に答える。 ・文章全体の文脈を考えながら、日本語の内容を英語で適切に表現する。 <文型・文法事項> 最上級、最上級の意味を表す比較表現を用いて文を作ることができる。 <言語の使用場面> 「地域の行事」の場면을ふまえてコミュニケーション活動ができる。	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・定期考査
	11月		Lesson 21 I Have a Foreign Friend	<本課のねらい> ・関係代名詞(主格・目的格)の働きを学習する。 ・英文を聞き取り、情報を整理して質問に答える。 ・文章全体の文脈を考えながら、日本語の内容を英語で適切に表現する。 <文型・文法事項> 主格・目的格の関係代名詞を用いて文を作ることができる。 <言語の使用場面> 「異文化」の場면을ふまえてコミュニケーション活動ができる。	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・定期考査
			Lesson 22 My Future Dream	<本課のねらい> ・関係代名詞(所有格、that)の働きを学習する。 ・英文を聞き取り、情報を整理して質問に答える。 ・文章全体の文脈を考えながら、日本語の内容を英語で適切に表現する。 <文型・文法事項> 関係代名詞(所有格、that)を用いて文を作ることができる。 <言語の使用場面> 「将来の夢」の場면을ふまえてコミュニケーション活動ができる。	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・定期考査
	12月		For Communication 5	<本課のねらい> ・「理由を述べる」表現を学習する。 ・英文を聞き取り、情報を整理して場面や目的等に応じて適切に英語で表現する。 ・場面に合った内容を考えながら、英語で適切に表現する。 <言語の働き> 「理由を述べる」表現を理解し、文を作ることができる。 <言語の使用場面> 「手紙・メール」の場면을ふまえて「理由を述べる」表現を使ってコミュニケーション活動ができる。	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・定期考査

学期	月	登	学習項目	学習内容（ねらい）および評価の観点	a	b	c	d	評価の方法
			2学期の評価方法	<評価の対象> ①学年末考査の成績，②Lesson 19～Lesson 22 の各課の評価問題の成績，③授業への取り組みの様子，④課題の提出状況と解答内容，⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況。					
3 学 期	1 月		Further Activities	<本課のねらい> ・読んだり聞いたりした内容についてまとめたり，自分の意見をまとめたりする。 ・つながりを表す語句について学習する。 ・発表の仕方や発表に必要な表現を学習する。 ・パラグラフの構成について基本事項を学習する。 <指導事項> ・つながりを表す語句に注意して英文を聞いたり読んだりすることができる。 ・パラグラフの構成について理解することができる。	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・定期考査
	2 月	文法の整理	<本課のねらい> ・本課で学習した文型，文法事項を復習する。 ・コミュニケーション英語Ⅰで学習する項目について確認する。 <指導事項> 学習した文型，文法事項を適切に用いて表現することができる。	○	○	○	○		
	3 月			○	○	○	○		
				3学期の評価方法	<評価の対象> ①学年末考査の成績，②授業への取り組みの様子，③課題の提出状況と解答内容，④授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況。				
学年末の評価方法				①コミュニケーションへの関心・意欲・態度，②表現の能力，③理解の能力，④言語や文化についての知識・理解の4つの観点から表した各学期の成績から総合的に判断して，年間の評価とする。					